糸碕神社新報

第248号　令和8年10月10日　糸碕神社　三原市糸崎8-10-1　℡0848-68-0102　発行　糸碕神社事務局　責任編集　宮司　松本　圭

お稲荷さんのお話（つづき）

あと少しだけ御稲荷さんのお話を続けます。

○お稲荷さんのキツネは白い

五穀豊穣の神様のお稲荷さんの眷属（神の使い）は、ネズミを捕食して田畑を守ってくれるので人々から神聖視されていたキツネです。キツネの姿を思い浮かべる時、通常、その姿は赤味がかった黄金色をしていると想うのですが、お稲荷さんのお社（やしろ）に侍っているのは白いキツネの像です。どういう訳で白いキツネなのか、鎌倉時代に成立した「稲荷大明神流記」に以下のようなお話が載っています。



平安時代のはじめ頃、都の北郊、船岡山の麓に、全身に銀の針を並べ立てたような年老いた白い狐の夫婦が、五匹の子狐と共に棲んでいました。この狐夫婦は賢く心根が善良で、常々世のため人のために尽くしたいと願っていました。とはいえ、畜生の身であっては、所詮その願いを果たすことはできません。そこで狐夫婦はある日、子狐をたちを伴って稲荷山に参拝し、「今日より当社の御眷属となりて神威をかり、この願いを果たさん」と、ご社前に祈りました。すると、たちまち神壇が鳴動し、稲荷神のおごそかな託宣が下りました。「そなたたちの願いを聞き許す。されば、今より長く当社の仕者となりて、参詣の人、信仰の輩を扶け憐むべし」と。

以下は、現代的というか世俗的な観点から。

北海道の道東には冬毛が白いホッキョクギツネが住んでいますが、本州・四国・九州に生息しているのは、赤味がかった黄金色のホンドギツネです。

しかし、どんな動物でも、ごく希にメラニン色素が少ない個体、いわゆるアルビノが生まれます。キツネを田畑の守り神として神聖視している純朴な昔の人々がアルビノのキツネを目撃したとしたら、きっと、キツネの中でも格別に尊い存在と捉えたことでしょう。加えて、白は清浄で神聖な色とされていたので、お稲荷さんの白いキツネの他にも、白い動物が神の使いとされている例がいくつかあります。例えば、春日大社の主祭神である建御雷命（たけみかづちのみこと）の使いは白い鹿、白蛇は弁財天や諏訪大明神の使い、または化身、といった具合です。

○糸碕神社のお稲荷さん

糸碕神社の境内、御本殿の西脇にお稲荷さんがお祀（まつ）りされています。商売繁盛を願ってのことでしょう、地元の有力者たちによって、明治三十五年（1902）、伏見稲荷大社を勧請して創祀されました。



しかし、お社（やしろ）は創祀当時のものではありません。昭和九年（1934）に東京の石井鉄工所亀戸工場から移設されたものです（※現在も活躍されている石井鐵工所とは別の会社です）。かつて広島市内にあった紀川商店が石井鉄工所とのご縁を取り持って下さったようなのですが、詳しい経緯は、もう分からなくなっています。

亀戸は大小の工場が密集していたので、昭和二十年（1945）三月十日の東京大空襲で徹底的に焼かれてしまいました。それはそれは恐ろしいことだったのですが、当社のお稲荷さんのお社は、不思議なご縁によって難を逃れることができたわけです。ですから、「強運の御稲荷さん」、「強運稲荷さん」と個人的にお呼びしています。

ご奉仕等

○お月見の会

九月二十五日（金）の中秋の名月の夜、当社境内にてお月見の会を行いました。あいにくの曇り空で月は顔を出さず、「主役不在」の月見となってしまいました。しかし、当夜に行われた音楽ライブで和太鼓の「空組」さんの奏打が始まると、圧倒されるというか引きこまれるというか、すっかり月のことなど忘れてしまっていました。

音楽ライブの後半では、「あの時の海風」と仲間の皆さんが、懐かしい昭和の曲を中心に、ギ

糸碕神社例大祭当日の駐車場について

このたびも、国道を挟んで神社の向かい側の公園を臨時駐車場としてお借りしています。
昨年までお借りしていた扶桑工業様の土地は、新工場建設中でお借りできませんので、前回までよりも駐車場の収容台数が少なくなります。バスやタクシーなど公共交通機関の利用など、ご配慮頂けますと幸いです。
また、お昼時は特に混雑するものと予想されますのでご留意下さい。

ターの弾き語りを披露して下さいました。その夜の模様はMCAT（旧三原テレビ）で放送されたので、ご覧になった方もあるかも知れません。



音楽ライブ出演者、「風神雷神図屏風」を展示して下さった浮世絵レタッチ作家の小河蒼雪先生、月見団子を奉納して下さいました平本商店さんに感謝致します。

○東町四丁目胡神社例大祭

十月四日（日）午前十時から、東町四丁目の胡神社の例大祭が齋行され、神事にご奉仕致しました。

こちらの胡神社は、神明さん名物「ダルマくじ」の拠点です。お話を伺ったところ、景品の選定やアルバイト募集に関することなど、神明さんの準備は既に始まっているとのことでした。

予定

○十月二十五日（日）
午前九時～黄幡神社例大祭
午後二時～平家八幡神社例大祭

○十一月一日（日）
午前十時三十分～加羅須美社霜月祭

○十一月十四日（土）
午後一時～糸崎駅前胡神社例大祭

糸崎神社例大祭について

例大祭準備

十月十六日（金）午前九時～大小の幟（のぼり）の立ち上げ、注連縄（しめなわ）の張り替えなどを行います。殊に、古くなった注連縄の張り替えを行う御社殿や標柱などは、合計三十八か所、総延長約百七十メートルにも及びますので毎回苦戦しています。下木原、糸崎、松東以外の地区の方でも、お手空きの方は、是非ご協力下さいますようお願い申しげます。

糸碕神社例大祭

○十月十七日（土）
午後六時～**宵宮神事**
午後七時～**高井神楽団宵宮奉納神楽**

○十月十八日（日）
午前九時半～**例大祭神事**
午前十時～**イトザキ de マルシェ**
午前十一時～**奉納コンサート**
※後片付けを十八日の午後四時から行いますので、こちらの方も宜しくお願い致します。

以上　糸碕神社宮司　松本　圭



